まか 記 事

第46回定期演奏会 堀井旅団長 部外講話 鹿追駐屯地創立61周年記念行事 自衛官2世誕生シリーズ③ 航空機体験搭乗(第5偵察隊) 第1回旅団指揮所訓練 自衛官募集



陸上自衛隊 第5旅団広報紙 発行所 第5旅団司令部 総務課 広報班 第173号(1) 2018**.** 6



「凜として」第46回 定期演奏会



第5旅団(旅団長 堀井陸将補)は、6月9日(土)、帯広市民文化ホールにおいて自衛隊帯広地方協力本部(本部長 弓場1佐)との共催及び東北海道自衛隊協力会連合会の協力により、第46回定期演奏会を開催しました。

本演奏会は、第5音楽隊(隊長 山田2尉)の演奏とゲストにソプラノ歌手 森川泉さんを招き「凜として」をテーマに2部構成で行われました。第1部は、全日本吹奏楽コンクール課題曲コンサート・マーチ「虹色の未来へ」や、隊員のソロによるチューバ独奏曲「コンチェルティッシモ」など第5音楽隊の高い演奏技術を披露し、第2部では、森川さんとの共演による「スタンド・アローン」「私だけに」など、壮大なスケールと会場に響きわたる美しい歌声で観客を魅了しました。

盛大なリクエストによるアンコールでは、会場全体が一体となって「ふるさと」を歌唱して興奮は最高潮に達し、来場した観客からは「表現力が素晴らしく、最高の演奏でした。」「力強い演奏に鳥肌が立ちました。」など多数の感極まる声が寄せられるました。共演した森川さんは「第5音楽隊のレベルの高

さと音楽を追求する真摯な姿勢に、私自身非常に触発されました。」と感想を述べられました。

当日は、約1450人の来 場者に十勝の初夏のひととき、 感動とやすらぎをお届けし、 本演奏会は大盛況の内に幕を 閉じました。



ソプラノ歌手 森川 泉さん



第5音楽隊長 山田2尉



観客を魅了した第5音楽隊



チューバのソロ演奏 今村3曹

堀井旅団長 部外講話

第5戦車大隊警備隊区5町・鹿追地区自衛隊協力会連合会 」

第5旅団長(堀井陸将補)は、6月18日(月)、鹿追町内において第5戦車大隊警備隊区各町長等(代表鹿追町長 吉田 弘志氏)及び鹿追地区自衛隊協力会連合会(会長 山岸 宏氏)など参加者約150名に対し、防衛意識の啓蒙を目的として部外講話を実施しました。

講話は、「陸上自衛隊の『これまで』と『これから』」と題して自 衛隊の諸活動や将来の体制について経験談や写真を交えて行われ、参 加した方々は、堀井旅団長からの説明を熱心に聞き入り、陸上自衛隊 に対する理解を深めました。

※次号において聴講者の所感文を掲載します。





「最も強く、最も頼もしい部隊」を目指して

~鹿追駐屯地創立61周年記念行事~

鹿追駐屯地(司令 矢野2佐)は、5月27日(土)駐屯地創立60 周年記念行事を執り行いました。当日は春の陽気にも恵まれ、開場を待 ちきれず駐屯地の前には来場者が列を作り駐屯地開放を待ちわびました。

式典は、吉田弘志鹿追町長をはじめ、多くの来賓を迎えて行われ、式 辞において司令は「我々は、日夜を問わず訓練に励み、戦車や火砲を活 用した総合戦闘力を最大限に発揮し得る能力を保持し、あらゆる事態に おいてもその任務を完遂できる実力を常に備え得るよう、『我等ここに 励みて、国安らかなり』を合言葉に、『最も強く、最も頼もしい部隊』 を目指して一層精進して参ります。」と述べました。

式典後は、第1空挺団による降下訓練の展示、引き続き観閲行進では 整斉と行進する隊員のあとに戦車等の車両が迫力ある行進を披露しまし た。

また、訓練展示では観客の眼前を土煙を上げ戦車が走る迫力満点の訓 練が行われる等、それぞれの場面で観客からは歓声と盛大な拍手が送ら れました。会場には約1100名の来場者が訪れ、30分待ちの長蛇の 列ができた戦車試乗や、戦車型のフワフワドームが設置されたちびっこ 広場など様々な楽しい催し等により、本行事は盛会裏に終了しました。







父の背中を 追いかけ・・・



今月のシリーズ③では、第5施設隊 眞砂曹長・尚人 親子について紹介します。

自衛隊生活三十有余年を全うし、本年9月に退官され る眞砂曹長は、息子である尚人自衛官候補生(以下「自 候生」と言う。)が参加している基礎教育の合間に教育 隊を訪れ尚人自候生を激励しました。この際、靴磨きに ついて「靴磨きは光らせることが目的ではない、身の安 全を守ってくれる靴に感謝を込めて手入れすることが大

事だぞ!」と伝えました。ま

■ た、激励された尚人自候生は 「職種は施設科を希望し、残 りの教育も精一杯頑張る。」 と意気込みを返し、親子の短 い再会を終えました。

眞砂曹長は、帰り際に区隊 の取締り役として気迫のこも った号令をかける我が子の凛 々しい姿を瞼に焼付け、万感 の思いを胸に帰途につきまし





別海の 景色に感激!

別海駐屯地(司令 横田2佐)は、6 月2日(土)、自衛隊協力者、駐屯地モ ニター及び募集対象者に対して航空機及 び軽装甲車の体験搭乗を実施しました。

当日は天候にも恵まれ、参加者は別海 町の広大な酪農地帯や遠く臨む水平線を 空から満喫し、搭乗した学生からは「天 気が良く、壮大な景色に感動しました。」

「軽装甲機 動車にもま た乗りたい です。」な どの感想が 聞かれ、自 衛隊に対す る更なる理 解と信頼を 厚くするこ とができま した。





撘

第1回旅団指揮所訓練

第5旅団(旅団長 堀井陸将補)は、5月28日(月)から6月4日(月)までの間、東千歳駐屯地において、平成30年度第1回旅団指揮所訓練(コンピュータによる指揮幕僚活動訓練)を実施しました。

本訓練の目的は、旅団司令部及び隷下部隊の指揮幕僚能力の向上を図るものであり、訓練開始にあたり、堀井旅団長は「情報と火力と障害、その他の機能を連携させよ!」「各幕僚は連携して機能せよ!」の2点を訓練部隊に要望しました。

また、統裁部長である下本幕僚長は「部隊を鍛えよ!」を統裁部に要望し、訓練部隊及び統裁部が一丸となり、旅団の指揮幕僚能力の向上を図りました。

本訓練は、平成30年度に計画されている 各種訓練に先立ち、指揮幕僚能力の向上を図った練成訓練であり「道東の守り」たる第5 旅団は、着実に次なる訓練への第一歩を踏み 出しました。



統裁官 堀井旅団長



統裁部長 下本幕僚長



旅団指揮所(火力調整所)



隷下部隊指揮所 (第27普通科連隊)



訓練部隊



対抗部隊









「初級陸曹として」

第5施設隊

3等陸曹 樋口 太優

私は平成29年7月から9月までの間、第1陸 曹教育隊で初級陸曹として必要な知識や技術を身 につけ、引き続き平成29年10月から12月ま での間、施設学校において施設陸曹としての基礎 を学び、平成30年1月1日付で3等陸曹に昇任 しました。

これからは、第1陸曹教育隊及び施設学校で学 んだことを部隊に普及するとともに、私が陸士の 頃多くの先輩方に指導をしていただいたように、 今度は私が後輩達を育てていきたいと思います。

また、来年度は旅団レンジャー養成訓練に参加 し、自らの限界に挑戦したいと思っています。







「卓 球」

第4普通科連隊

荒 2曹次男 荒 優輝(小5)

ぼくは、十勝卓球クラブで卓球を4才から やっています。2年生と4年生の時に北海道

で3位になって、全国大 会に出場しました。

全国大会で、2年生の 時は予選負けしましたが、 4年生の時は予選を通過 して、ベスト64になっ てとてもうれしかったで

今年は、全道大会で負 けてしまったので全国大 会にはいけないけれど、 来年は全国大会にいける ようにいっぱい練習をし てがんばりたいです。

あと、お父さんに勝て るようにがんばります。





報ひ各 盛が種

がだくされると

) んだや ! とお部 ぜり隊 一の

募集種目	受付締切
☆ 陸・海・空 自 衛 官 候 補 生 ☆ 陸・海・空 一 般 曹 候 補 生 ☆ 海 ・ 空 航 空 学 生	9月7日(金)
☆防衛大学校学生(一般前期) ☆防衛医科大学校医学科学生 ☆防衛医科大学校看護学科学生 (自衛官候補看護学生)	9月28日(金)

※1 今年度の女性自衛官の採用試験は9月予定で行われます

※2 来春、卒業見込みの高校生は9月以降実施する試験から志願できます。



お問い合わせ

自衛隊帯広地方協力本部

0155-23-8718 0154

第5旅団 第5旅団

ホームページ